

3 学年 技術科指導案

1 単 元 情報モラルと知的財産

2 目 標

- ①デジタル化した情報の長所と短所を考え、情報を正しく扱うためのルールやマナーの必要性を知る。
- ②人権や個人情報の保護の必要性を知り、必要なルールや利用の仕方を考える。
- ③知的財産の保護の必要性を知り、利用の仕方を考える。

3 指導計画（全3時間）

主な学習内容及び学習活動	時 間	評価計画
1 利用するとき、発信するときのモラルを学習する。 ○ デジタル化した情報の長所と短所について考える。	1 時間	○ 情報を扱う際のルールやマナーなどの必要性を説明できる。
2 人権や個人情報の保護について学習する。 ○ 守るべきルールやマナーについて話し合う。	1 時間 (本時)	○ 人権や個人情報を保護するためのルールについて説明できる。
3 知的財産の保護について学習する。 ○ 知的財産の利用について考える。	1 時間	○ 著作物の正しい利用について説明することができる。

4 本時の目標

- ルールやマナーの必要性について考える。
- 人権や個人情報を保護するためのルールについて説明できる。

5 情報モラル教育の指導領域

情報社会の倫理・法の理解と遵守

6 学習指導過程（技術・家庭 技術分野（開隆堂）を使用しての授業実践）

学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評 価	資料・準備
1 本時の学習内容を知る。	人権や個人情報を保護するためのルールや利用の仕方について考える。		
2 教科書P200、201より事例1を基に、プライバシーの侵害について考える。	○ 事例1～3について予想される問題を、班で考えさせて、その後発表させる。	○ ルールやマナーの必要性について理解できたか。	ワークシート 教科書
3 事例2を基に、肖像権の侵害について考える。	○ 出てきた問題点は、それぞれ、プライバシーの侵害、肖像権の侵害、個人情報の流出であることを理解させる。		
4 事例集3を基に、個人情報の流出について考える。			
5 人権や個人情報を保護するためのルールを考え、その必要性を確認する。	○ インターネットは、ルールを守らないと、犯罪に巻き込まれたり、自分が知らないうちに加害者になる可能性があることを理解させる。	○ 人権や個人情報を保護するためのルールについて理解できたか。	ワークシート 教科書